

世界へ羽ばたけ 10 代サイエンティスト！ バイオテクノロジー研究者育成プロジェクト「WBT アンバサダー・プログラム」 アンバサダー 5 名の研究テーマが決定

にっぽんかがくみらいかん
日本科学未来館（略称：未来館、館長：毛利衛）は、「ワールド・バイオテクノロジー・ツアー（WBT）※」の一環として、平成 27 年 4 月より青少年がバイオテクノロジーに関する課題研究にチャレンジし、国際交流をする「WBT アンバサダー・プログラム」を実施しています。このたび、研究に取り組むアンバサダー（親善大使）たちの研究テーマが決定しましたので、お知らせします。

このプロジェクトは、公募でアンバサダーに選ばれた高校生・大学生 5 名が、バイオテクノロジーに関して疑問に思っていることや興味のある問題に対して、科学的なアプローチで研究計画をつくり、研究を進め、そのプロセスや成果を国内外で発表するものです。アンバサダーたちのユニークな発想や着眼点に基づき決定した研究テーマについて、今後、メンターとして未来館の科学コミュニケーターが継続的に研究活動をサポートしていきます。

8 月 8 日（土）に行われる中間研究報告会で研究概要を報告後、11 月の科学コミュニケーションイベント「サイエンスアゴラ 2015」内で行われる最終発表会で研究成果を発表し、最優秀アンバサダーを決定します。最優秀アンバサダーは、海外科学館（ベルギー、ポルトガル）との交流のほか、2017 年に開催される世界科学館サミットへの招待が予定されています。

※ワールド・バイオテクノロジー・ツアー（WBT）

バイオテクノロジーやその社会との関係性について、科学館の活動を通して理解を深めることを目的とした国際プロジェクト。北米地域を中心とする科学館ネットワーク Association of Science-Technology Centers（ASTC）が企画・運営、米国企業の Biogen Foundation が協賛しています。アンバサダー・プログラムは WBT の主要企画で、今年には日本科学未来館のほか、ポルトガル、ベルギーの科学館が参加し、相互にアンバサダーが交流します。



[アンバサダーが取り組む研究テーマ]

- 「ミドリムシを用いた海水浄化」 明田 悠祐（あけた ゆうすけ）さん（大学 1 年）
- 「藻類を使って肥料をつくる」 蒲 朋恵（かば ともえ）さん（高校 2 年）
- 「腸内環境と私たちの健康の関係」 服部 真央（はっとり まお）さん（高校 2 年）
- 「緑茶成分カテキンの機能と新しい活用法」 東野 昌伸（ひがしの まさのぶ）さん（高校 2 年）
- 「インフルエンザワクチンに関する伝え方の研究」 柳田 優樹（やなぎだ ゆうき）さん（高校 2 年）

[今後のスケジュール]

- ・中間研究報告会（使用言語：英語）
日時：8 月 8 日（土） 13:00～14:00 場所：日本科学未来館 イノベーションホール
- ・最終発表会（使用言語：日本語）
日時：11 月中旬（予定） 場所：サイエンスアゴラ会場内（日本科学未来館ほか）

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL: 03-3570-9151 FAX: 03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 EMAIL: press@miraikan.jst.go.jp TEL: 03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150